

令和3年度 第1回千葉市立博物館協議会

日時 令和3年8月26日(木)

13:30~15:00

場所 千葉市立郷土博物館 講座室

次 第

1 開 会

2 部 長 挨 拶

3 議 題

(1) 令和2年度の事業報告について

(2) その他

4 閉 会

3 議題

(1) 令和2年度の事業報告について

→次ページから

(2) その他

- ・「特別史跡加曾利貝塚新博物館基本計画」の検討状況について

→別添資料

議題1 令和2年度の事業報告について

○加曾利貝塚博物館

1 入館状況

| 年度 | 開館日数(日) | 来館者数(人) | 備考 |
|------|---------|---------|---------------------|
| 30年度 | 304 | 77,222 | |
| 元年度 | 281 | 67,632 | R2.3.3~3.31 臨時休館 |
| 2年度 | 260 | 33,500 | R2.4.1~R2.5.25 臨時休館 |

2 事業実績

| | 事業内容 | 実施期間 | 説明 |
|-----------------|-----------|------------|---|
| (1) 維持管理事業 | ア 維持管理事業 | 通 年 | 加曾利貝塚博物館の施設管理業務及び加曾利貝塚縄文遺跡公園の維持管理業務 ①警備・清掃業務委託 ②草刈業務委託 ③消防用設備その他保守点検委託 |
| | イ 施設修繕 | 2 月 3 月 | 博物館火災報知器修繕 博物館街路灯修繕 |
| (2) 資料収集保管事業 | ア 資料の整理保管 | 通 年 | 資料は埋蔵文化財調査センターと共同で管理しており、相互の連携を踏まえて台帳の整理及び保管状況の確認などを随時実施している。 ※第1・第3収蔵庫の解体に伴い、平成29年度に大半の資料を移動。旧幸町第一小学校で930箱、埋蔵文化財調査センターで750箱を保管している。 |
| | イ 資料の貸出 | 通 年 | 他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を行った。 ① 資料貸出 5件 46点 ② 写真貸出・掲載 31件 65点 ③ 資料館内利用 0件 0点 |
| (3) 調査研究事業 | ア グループ研究 | 通 年 | 加曾利E式土器に関する集成研究 |
| | イ 個別研究 | 通 年 | ・加曾利貝塚等の出土土器の編年学的研究 ・遺跡保存に関わる実験的研究 ・加曾利貝塚縄文遺跡公園内における自然の活用方法の研究 |

| | | | |
|-------------------------|--|--|--|
| | ウ 委託研究 | | 北貝塚竪穴住居跡群観覧施設遺構保存に関わる実験 ※史跡整備に伴う工事のため実験延期 |
| | エ 『貝塚博物館 紀要』の発行 | 3 月 | 『貝塚博物館紀要』第47号の発行 A4判 61ページ 620部 ・加曾利B地点の一と1922年の測量について -付 測量に関する誤った記述について- (菅谷 通保 埋蔵文化財調査センター) ・【研究ノート】餅ヶ崎遺跡における北白川C式系 土器出土の背景(1) -近畿・東海地方中期末～後期前半における石器組成 (加納 実 加曾利貝塚博物館) ・千葉市内出土の堀之内2式土器の集成 (小澤 政彦 千葉県教育庁教育振興部文化財課) ・加曾利E式土器資料集成研究③-北西部地域を対象に- (館 祐樹 加曾利貝塚博物館) |
| (4) 展 示 事 業 | ア 常設展 | 通 年 | 加曾利貝塚から縄文時代の貝塚を見る 資料点数：348点 |
| | イ 企画展 | | |
| | 「特別史跡加曾利貝塚 令和元年度発掘調査 速報展」 (企画展示スペース) | 5月26日(火)～ 6月28日(日) ※令和元年度3月～ 令和2年度5月まで の当初予定から延期 | 令和元年6月～12月にかけて実施した特別史跡加 曾利貝塚の発掘調査について、出土資料を中心に発 掘の成果を紹介した。 資料点数：74点 入館者数：2,487人 |
| | 春のパネル展 【中止】 | 6月2日(火)～ 6月30日(火) | 内容は未設定。例年は、博物館所蔵の写真から抽出 したパネル展示を行っていた。 ※速報展の開催期間変更に伴い中止 |
| | 県内縄文遺跡展 「君津市三直貝塚」 -千葉県の縄文時代を彩った 遺跡たち- 【新規】 | 7月4日(土)～ 8月30日(日) | 千葉県の縄文時代研究に欠くことができない遺跡 を紹介するとともに、加曾利貝塚の調査成果と比較 し、より知識や関心を深めてもらうことを目的に展 示を行った。 資料点数：28点 入館者数：6,536人 |
| | 夏休み企画展 「調べて発見！私たちの まちの縄文時代」 (企画展示スペース) | 7月11日(土)～ 9月13日(日) | 夏休み期間中の小中学生を対象に、市内の縄文時 代の遺跡について分かりやすく解説した。 遺跡散歩用地図を配布。 花見川区さつきが丘周辺(犢橋貝塚など) |

| | | |
|--|--------------------------------|---|
| | | <p>稲毛区小中台周辺(谷津台貝塚など) 中央区仁戸名周辺(月ノ木貝塚など) 若葉区平和公園周辺(多部田貝塚など) 緑区おゆみ野・平山町周辺(築地台貝塚など)</p> <p>資料点数：58点 入館者数：6,898人</p> |
| <p>「恋して土偶展」 (ミニ展示スペース) 【追加】</p> | <p>9月5日(土)～ 11月1日(日)</p> | <p>博物館学芸員館務実習生による企画および展示。 実習成果を発表することを目的とし、館蔵の土偶のレプリカを解説付きで展示した。</p> <p>資料点数：7点 入館者数：6,363人</p> |
| <p>秋のパネル展 「写真で見る縄文の森のいきものたち」 (企画展示スペース)</p> | <p>9月19日(土)～ 11月1日(日)</p> | <p>加曽利貝塚縄文遺跡公園内にとどまらず、坂月川河畔まで対象地域をひろげ、そこに生息する鳥類や昆虫類等のいきものを写真パネルで紹介した。</p> <p>入館者数：5,351人</p> |
| <p>「あれもE これもE -加曽利E式土器- (北西部地域編)」 (企画展示スペース)</p> | <p>11月14日(土)～ 2月28日(日)</p> | <p>加曽利E式を中心に、縄文時代中期後半の土器を年代を追って展示し、縄文文化における土器型式の変遷や文化の移り変わりを解説するなどの展示を行った。</p> <p>資料点数：56点 入館者数：12,209人</p> |
| <p>県内縄文遺跡展 「松戸市中峠遺跡」 -千葉県縄文時代を彩った遺跡たち- (ミニ展示スペース) 【新規】</p> | <p>11月14日(土)～ 2月28日(日)</p> | <p>千葉県の縄文時代研究に欠くことができない遺跡を紹介するとともに、加曽利貝塚の調査成果と比較し、より知識や関心を深めてもらうことを目的に展示を行った。</p> <p>資料点数：10点 入館者数：12,209人</p> |
| <p>「特別史跡加曽利貝塚 令和2年度発掘調査速報展」 (企画展示スペース)</p> | <p>3月13日(土)～ 5月9日(日)</p> | <p>令和元年10月～11月にかけて実施した特別史跡加曽利貝塚の発掘調査について、出土資料を中心に発掘の成果を紹介した。</p> <p>資料点数：73点 入館者数：1,629人</p> |
| <p>収蔵品展 「青森県三内丸山遺跡」 -円筒下層式土器の展示- (ミニ展示スペース) 【新規】</p> | <p>3月13日(土)～ 5月9日(日)</p> | <p>博物館に収蔵されている青森県三内丸山遺跡出土の資料の中で、円筒下層式の資料を紹介する展示を行った。</p> <p>資料点数：16点 入館者数：1,629人</p> |

| | | | |
|---------------|---|---|--|
| (5) 教育普及事業 | ア 講座・イベント 縄文ひろば 【中止】 | 第2・第4日曜日及び夏休み期間 7月18日～8月30日の土・日曜日(除外日あり) | 火おこし体験、アングイン編み、貝のアクセサリーづくり、縄文服の試着体験等、縄文時代の生活を学ぶことを目的に実施。 参加人数：0人 |
| | 縄文春まつり 【中止】 | 5月2日(土)・3日(日) | 各種縄文体験、ステージプログラム、グルメ等の販売など。※当初計画 参加人数：0人 |
| | 貝輪づくり講座 【新規】【中止】 | 5月16日(土) | ベンケイガイを加工して、縄文時代のアクセサリーである貝の腕輪をつくる体験学習。※当初計画 参加人数：0人 ※夏休み縄文ウィークのカリキュラムに編入 |
| | 自然観察ワークショップ 【中止】 | 5月30日(日) 1月24日(日) | 加曽利貝塚の自然を活かしたワークショップ。指導者を迎え、園内の自然観察を行う。 参加人数：0人 |
| | 縄文土器づくり講座 【中止】 ※2回とも参加者募集を行い、1回目は1月に実施期間を変更後に結局中止、2回とも募集はしたが、緊急事態宣言の発令に伴い中止 | 【1回目】 6月6日・13日・20日、7月11日の土曜日 【2回目】 9月5日・12日・19日、10月10日の土曜日 | 中学生～成人を対象とした縄文土器づくり体験。年2回、粘土づくり・成形・焼成を学習した。 参加者：0人 |
| | 特別講座 考古学研究の最前線Ⅰ・Ⅱ 【新規】 ※第2回は、当初予定にはなし【追加】 | 7月25日(土) 11月29日(土) | 考古学の新たな研究法を模索するため、考古学の研究者を招き、博物館長と共に行う講座 一般市民の参加が可能な上級者向けの講座。 Ⅰ『パラダイムシフト 縄文時代をどう捉えるか』 「堀之内1式土器の個体別系統分析について」 加納 実(千葉市立加曽利貝塚博物館館長) 「瀬戸内地域における押型文土器及び無文土器について」 吉野 真如(千葉県教育庁教育振興部文化財課指定文化財班) 「佐藤達夫の異系統土器論-その学史的意義と民族誌的検証-」 田村 隆(元千葉県立中央博物館主席研究員) 「気候変動と縄文世界の変化」 |

| | | |
|--|-----------------------|--|
| | | <p>安齋 正人（元東北芸術工科大学東北文化研究センター教授）</p> <p>Ⅱ『異系統土器論-器型式の実態-』</p> <p>「中期末後期初頭における東西土器群の系統表示性と背景」</p> <p>加納 実（千葉市立加曽利貝塚博物館館長）</p> <p>「佐藤達夫の異系統土器論-その学史的意義と民族誌的検証-その2」</p> <p>田村 隆（元千葉県立中央博物館主席研究員）</p> <p>「異系統土器の共存と異系統文様の同一個体共存-関東地方北東部における縄文時代中期中葉の事例-」</p> <p>塚本 師也（(公財)とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター）</p> <p>「気候変動と縄文世界の変化-その2-」</p> <p>安齋 正人（元東北芸術工科大学東北文化研究センター教授）</p> <p>参加人数：91人</p> |
| 夏休み縄文ウィーク 【新規】 | 8月18日(火)～ 8月23日(日) | <p>勾玉づくり・貝輪づくり・組ひもづくり・発掘体験の小学生向けの体験学習週間として実施。</p> <p>※当初予定では、8/22・23は夏休み縄文ひろばの予定であったが、ガイドボランティア活動自粛のため、夜間開館「加曽利貝塚夕涼み」に変更した。</p> <p>※5/16に中止した貝輪づくりを本事業に組み込んで実施。</p> <p>参加人数：延べ56人</p> |
| 縄文秋まつり 【中止】 ※新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い中止。 | 10月3日(土)・4日(日) | <p>各種縄文体験、ステージプログラム、グルメ等の販売など。</p> <p>参加人数：0人</p> |
| 加曽利ウォーク 【新規】 | 10月31日(土) | <p>市内文化財を歩いて巡る講座。今年度は花見川区犢橋貝塚などを対象とした。</p> <p>参加人数：15人</p> |
| 加曽利貝塚文化祭 【新規】 | 11月3日(火・祝) | <p>縄文時代の考古学的な情報を発信することを目的とするミニイベントを開催した。</p> <p>勾玉づくり・組ひもづくり・貝輪づくり体験の他、教えて!!学芸員、加曽利クエストなどを実施。</p> <p>参加人数：延べ1,188人</p> |
| ナイトミュージアム 【中止】 | 11月28日(土) | <p>博物館の夜間開館、体験・参加型コンテンツを予定。</p> <p>参加人数：0人</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>縄文時代研究講座</p> | <p>12月12日・19日・1月16日、30日、2月13日・20日の各土曜日 ※1/30は、当初1/9(第3回)に実施予定だったが、緊急事態宣言発令に伴い、日付を変更</p> | <p>一般市民向けの初級から中級の講座。 第1回「加曽利 E 式土器の設定と細分の学史的背景、並びに関連する話題」 講師：大村 裕（下総考古学研究会） 第2回「印旛地域の加曽利 E 式土器」 講師：小倉 和重（(公財)印旛都市文化財センター 庶務課長補佐兼調査係長） 第3回「北西部地域の加曽利 E 式土器」 講師：館 祐樹（加曽利貝塚博物館主事） 第4回「下総考古学研究会と中峠式」 講師：大村 裕（下総考古学研究会） 大内 千年（千葉県教育庁教育振興部 文化財課発掘調査班長） 第5回「柏の縄文時代」 講師：谷口 友季（柏市教育委員会文化課主事） 第6回「連弧文系土器の盛衰と集落動態 ー北西部地区とその周辺」 講師：箱石 幸祐（船橋市教育委員会文化課主事） 参加人数：130人</p> |
| <p>縄文ミニイベント 「春よ来い！」</p> | <p>2月27日(土) ※令和元年度に新規で企画したが、中止。</p> | <p>スマートグラス(AR 体験)、教えて!!学芸員、加曽利クエスト、発掘体験などを実施。 参加人数：延べ 2,163人</p> |
| <p>市民のための研究講座 「縄文を知る -市内縄文研究概論-」 【新規】 ※当初計画では、「縄文時代研究の最前線」という講座名だったが、変更。</p> | <p>3月20日(土) ※当初は3/13にも予定していたが、会場が狭かったので中止。</p> | <p>一般市民向けの初級から中級の講座。 「千葉市有吉南貝塚-集落形成の過程-」 青笹 早季（加曽利貝塚博物館主事） 「有吉北貝塚の特異な人骨埋葬例」 千葉 南菜子（千葉市教育委員会文化財課主事） 参加人数：28人</p> |
| <p>「発掘調査体験・縄文工作教室」</p> | <p>土・日曜日・祝日 ※令和2年度は、10月から3月の間実施。1月～3月の間は中断。(小イベント・春休み期間のみ開催)</p> | <p>発掘調査体験や縄文工作教室(スクラッチアート・ポップアップカード)を実施。 参加人数：延べ 1,812人</p> |
| <p>外部イベントでの啓発 【依頼なし】</p> | | <p>各所で開催されたイベントへ参加し、加曽利貝塚のPRを実施。※千葉市子ども会交歓大会とまなびフェスタ2019(生涯学習センター)は、依頼があったが中止となった。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| イ 小学校・団体見学 小学校 | 通 年 10月20日(火) | 市内小学校12校、市外小学校13校が社会科見学で来場。史跡内の解説を実施した。 ※市内学校52校、市外学校5校申込キャンセル。 桜木小学校のみ例年実施の学習支援を行った。 桜木小学校(計1回) ※例年は複数回実施 5年生の児童132人を対象に、加曽利貝塚へ見学などの対応を行った。 ※桜ヶ丘特別支援学校からの相談あり、未実施。 |
| 団体 | 通 年 | 令和元年度は計1件の団体見学(市内小学校除く)に対応した。※6件の申込キャンセルがあった。 |
| ウ 学習支援コンテンツの製作 | 9月29日より公開 | 新型コロナウイルスの影響で来館できない子どもたちを対象に映像コンテンツ「千葉市の歴史を学び隊! 加曽利貝塚博物館・特別史跡加曽利貝塚」を製作し、ホームページで公開した。 |
| エ 講師派遣 | 9月10日(木) 10月26日(水) 11月21日(土) 11月21日(土) 11月22日(日) 12月9日(水) 1月23日(土) 2月25日(水) 3月24日(水) | 職員が各施設に出向くなど加曽利貝塚について講義・講演を行った。 みんなの学校(朝日ヶ丘公民館) 加曽利貝塚ガイドの会講座(加曽利貝塚博物館) 緑図書館市民講座(緑図書館) 四街道市郷土歴史館設置期成会 動物園で考古学(千葉市動物公園) 人材育成課夜間講座(中央コミュニティセンター) こてはし台学(こてはし台公民館) 加曽利貝塚友の会サロン(加曽利貝塚博物館) 加曽利貝塚ガイドの会講座(加曽利貝塚博物館) |
| オ 職場体験の受け入れ【相談なし】 | | 職場体験の機会を提供した。内容は主に学芸業務(資料整理の実務など)を体験。 |
| カ 博物館実習の受け入れ | 8月25日(火)～ 9月4日(土) | 学芸員課程履修中の学生7人の館務実習生を受け入れた。実習内容は、施設の維持管理、資料整理、展示など教育普及事業の補助などを行った。 |
| キ 博物館ボランティアの活用・育成 【ガイド活動中止】 【養成講座中止】 | 通 年 | 博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。 ・活動内容 博物館内および遺跡公園内の解説、体験学習(火おこし体験など) ・活動日時 火曜日～日曜日、館のイベント実施日などの期間 10時00分～15時00分、その他見学団体からの |

| | | | |
|------------|--|--|---|
| | <p>【研修講座中止】</p> <p>※募集は実施7名応募</p> | <p>(当初)7月8日、 15日、22日、29 日の水曜日</p> <p>(変更)11月5日、 12日、19日、26 日の木曜日</p> <p>(結果)中止</p> <p>9月4日(金)、13 日、20日、27日 の日曜日</p> <p>※12月への変更は詳 細定めず</p> | <p>要請に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録人数：54人 ・年間解説：6回30人 <p>※イベント時に試行的に実施したガイド活動のみ</p> <p>下記の講座開催を予定したが、中止となったので、 新規登録者はなし。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎講座（全6回） ボランティアに関する基礎的な知識の習得を目的 に生涯学習センターで実施。 ・専門講座（全6回） 加曾利貝塚の歴史などに関する専門的な知識の習 得や体験学習・展示解説の実習を目的に加曾利貝塚 博物館で実施。 |
| (6) その他 | <p>ア 千葉県博物館協会</p> <p>イ 日本博物館協会</p> <p>ウ 全国歴史民俗系 博物館協議会</p> | <p>5月21日(木)から 7月21日(火)に書 面開催</p> <p>9月11日(金) 令和3年2月7日 (日)に書面開催</p> <p>6月17日(水)</p> <p>【中止】</p> <p>11月25日(水)～ 26日(木)【不参加】</p> <p>8月18日(火)～31 日(月)の間に書面 開催</p> | <p>総会（千葉県立中央博物館）</p> <p>第1回研修委員会会議（県立美術館）</p> <p>第2回研修委員会会議（県立美術館）</p> <p>※千葉ブロック会議は未開催</p> <p>全国博物館長会議（文部科学省）</p> <p>全国博物館大会（横浜市開港記念会館）</p> <p>年次総会 (当初予定：東北歴史博物館6月11日(木))</p> <p>※関東ブロック集会は未開催</p> |

○郷土博物館

1 入館状況

| 年度 | 開館日数(日) | 来館者数(人) | 備考 |
|-------|---------|---------|---------------------|
| 30年度 | 298 | 52,617 | |
| 令和元年度 | 286 | 46,308 | R2.3.3~3.31 臨時休館 |
| 令和2年度 | 260 | 30,453 | R3.4.1~R3.5.25 臨時休館 |

2 事業実績

| | 事業内容 | 実施期間 | 説明 |
|-----------------|--------------------|------------------------|--|
| (1) 維持管理事業 | ア 維持管理事業 | 通年 | 郷土博物館施設の管理業務委託の実施 ①警備委託 ②清掃委託 ③エレベーター等設備関係保守委託他 |
| | イ 設備改修事業 | 通年 | 設備の改修を実施 オストメイト修繕を実施 |
| (2) 資料収集保管事業 | ア 資料の収集 | 通年 | 展示・研究等に必要な資料の収集を行った。 旧気球連隊第二格納庫部材など86点の寄贈等を受け、資料として登録した。 |
| | イ 資料の整理保管 | 通年 | 収蔵資料の再整理作業を行い、基本カードの再確認、資料のデジタル撮影を進めた。また、他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を行った。 ①資料貸出 3件 46点 ②写真貸出・掲載 17件 216点 ③資料館内利用 1件 2点 |
| | ウ 新規収蔵資料 燻蒸 | 12月 | 新たに寄贈、寄託等を受けた資料の燻蒸を行った。 |
| | エ 収蔵庫・展示室 等環境調査 | 5月22日(金) ~12月31日(木) | 本館及び収蔵庫について、展示・収蔵環境の現状を多角的に把握し、展示・収蔵資料のよりよい保存環境を整備するために環境調査を実施した。 |

| | | | |
|-----------------------------------|--|---|--|
| (3) 調 査 研 究 事 業 | ア 館内調査研究 | 通 年 | 企画展等に伴う資料調査を実施した。 |
| | イ 千葉市民俗資料 調査 | 通 年 | 緑区平山地区の調査を行う予定であったが、聞き取り調査が実施できずやむを得ず中止した。 |
| | ウ 千葉氏関係資料 調査 | 通 年 | 各地に残されている千葉氏に関する資料や情報を収集調査した。また、千葉氏関係史料の史料目録を作成し、一部を研究紀要に掲載した。 ・千葉氏関連石造物の調査 ・中世後期における下総千葉氏関係文書目録 |
| エ 『研究紀要』の 発行 | 3 月 | 『研究紀要』第27号の発行 A4判 86ページ 750部 ・千葉寺十善講調査報告—今も続くお大師詣り— ・歴史講座「戦争の惨禍を伝える」講演要旨 ・千葉氏関係史料調査会調査概報（三） | |
| (4) 展 示 事 業 | ア 常設展 | 通 年 | 千葉市に関わる歴史資料の展示 1階 歴史年表、千葉市域の城郭遺跡、千葉市に関するミニ展示など。 2階 所蔵資料にみる日本の武器・武具 天文資料コーナー ※特別展期間中は撤収 3階 千葉氏の興亡と妙見信仰 4階 近現代の千葉 5階 展望室（パネル展示など） |
| | イ 特別展 千葉市制100周年記念「軍都千葉と千葉空襲—軍と歩んだまち・戦時下のひとびと—」 (1・2階展示室) | 10月27日(火)～12月13日(日) | 明治末期から終戦までの間、市域には数多くの軍施設が置かれたが、昭和20年に激しい空襲により市街地は甚大な被害を受けた。戦前戦中の市民生活の諸相や戦後における復興の進展、平和都市宣言までを関係資料を展示し紹介した。 資料点数： 220点 入館者数：7,530人 |

| | | |
|---|------------------------|--|
| ウ 企画展 | | |
| 「ちばの夏祭り・秋祭り」 (1階講座室) | 7月15日(水) ～10月25日(日) | 千葉市及び近隣地域で開催される夏祭りと秋祭りのうち、稲毛浅間神社例大祭など6つの祭りについて本館の収蔵品を中心に写真・衣装・記録映像等で紹介した。 資料点数： 33点 入館者数：7,866人 |
| 「野のうつりかわり—六方野の場合—」 (2階展示室) | 8月26日(土)～10月25日(日) | 江戸時代、集落の周囲に広がる野は、採草地として利用されたが、常に開発が試みられる場所でもあった。現在の千葉市から四街道市にかけて広がっていた「六方野」を例に、野の変化について紹介した。 資料点数： 11点 入館者数：4,950人 |
| パネル展「将門と忠常—千葉氏のルーツを探る—」 (1階展示室) | 5月18日(金)～7月1日(日) | 千葉氏と深い関わりを持つ二人の武将「平将門」と「平忠常」と、彼らに関東で起こした反乱を紹介し、千葉氏のルーツを探った。 パネル： 8枚 入館者数：2,785人 |
| 「石斧展」(市埋蔵文化財調査センターと共催) (1階展示室) | 11月18日(水)～11月29日(日) | 弥生時代に使われた石器を取り上げ、房総半島においてどのようにムラが経営されていたのか、その一端を紹介した。 資料点数： 29点 入館者数：1,852人 |
| 「市内の中・近世遺跡—南屋敷・遠坪遺跡—」(市埋蔵文化財調査センターと共催) (1階展示室) | 12月15日(火)～1月11日(月) | 若葉区源町にある南屋敷遺跡と若葉区中田町にある遠坪遺跡の発掘調査によって出土した中・近世の考古資料の一部を展示した。 資料点数： 13点 入館者数：2,861人 |
| 「市内の中・近世遺跡—堀之内城跡・都町山王遺跡・向ノ台遺跡—」(市埋蔵文化財調査センターと共催) (1階展示室) | 1月13日(水)～2月4日(木) | 若葉区旦谷町にある堀之内城跡と中央区都町にある都町山王遺跡・向ノ台遺跡の発掘調査によって出土した中・近世の考古資料の一部を展示した。 資料点数： 18点 入館者数：1,290人 |

| | | | |
|-----------------------------------|---|---------------------|---|
| | 「市内の中・近世遺跡—御茶屋御殿跡・へたの台貝塚—」(市埋蔵文化財調査センターと共催) | 2月5日(金)~2月26日(金) | 若葉区御殿町にある御茶屋御殿跡と中央区仁戸名町にあるへたの台貝塚の発掘調査によって出土した中・近世の考古資料の一部を展示した。 資料点数： 14点 入館者数： 2,616人 |
| (5) 教 育 普 及 事 業 | ア 講座・イベント | | |
| | 鎧やむかしの着物の着用体験 【中止】 | 毎月第3土曜日 | 中世の鎧や直垂、桂、小袖、近世の袴(いずれも複製)などを着用することにより歴史に親しみながら学ぶ。 参加人数：0人 |
| | ちょっと昔の遊び体験 【中止】 | 毎週土曜日 | かざぐるまやぶんぶんゴマづくり、折り紙など昔なつかしい作って遊ぶ体験 参加人数：0人 |
| | 夏休み郷土史講座 【中止】 | | 小学生4年生以上の児童・生徒を対象にした、郷土博物館の資料等を使った郷土史の講座 参加人数：0人 |
| | 火縄銃演武 【中止】 | | 火縄銃の実射(空砲)や鉄砲隊の装束、撃ち方などを間近で学べる火縄銃演武。 参加人数：0人 |
| | 鎧づくり体験講座 【中止】 | | 夏休み中、小学4~6年生を対象に「当世具足」と呼ばれる鎧づくり講座。 参加人数：0人 |
| | 歴史散歩 | 1月30日(土) 2月6日(土) | 市内の史跡や文化財などを訪ねて、見学と解説を実施した。 講師：当館職員(定員：各15人) 参加人数：26人 |
| | 鎌倉騎馬武者体験 【内容変更】 | 11月9日(土) | 鎌倉時代の武士が用いた大鎧などを着用して郷土博物館前で乗馬体験。 ※体験は中止 代替として、ブックレット『クローズアップ鎌倉武士—武士は如何に武装し、如何に戦ったか—』を発行(500部) |

| | | |
|----------------------------------|--|---|
| <p>歴史講座</p> | <p>11月15日(日)</p> | <p>特別展と関連して「戦争の惨禍を伝える」をテーマに開催した。(定員：80人) 第1講「東京大空襲—千葉県との関わり—」 講師：石橋星志氏(すみだ郷土文化資料館学芸員) 第2講「千葉市の鉄道連隊関連遺跡の保存と活用について」 講師：小笠原永隆氏(帝京大学経済学部准教授) 参加人数：71人</p> |
| <p>講座「千葉氏をまなぶ」</p> | <p>11月12日(木) 11月19日(木) 11月26日(木)</p> | <p>生涯学習センターと共催で、「千葉氏に関連した中世の千葉の様子について学習する」をテーマに開催 11/12「源平闘諍録を読む」 11/19「将門と忠常」 11/26「展示解説」 講師：当館職員 参加人数：延べ39人</p> |
| <p>千葉氏公開市民講座 【映像・講演録公開】</p> | | <p>令和2年度は人を集めての講座は中止。代替として下記の通り実施した。</p> <p>6月分として、発表を予定していた内容を講演録として発行、WEB上でも公開。</p> <p>○全体テーマ 「武家社会確立期の権力と権威—千葉氏をはじめとした東国武士の動向から読み解く—」</p> <p>講演1 和田合戦と千葉一族 講師：山本みなみ氏(鎌倉歴史文化交流館)</p> <p>講演2 東国武士と京都の文化 —官職・武芸・和歌— 講師：小出麻友美氏(千葉県立中央博物館)</p> <p>講演録：A4判 26ページ 600部(10月刊行)</p> <p>12月分千葉大学と共催で、千葉大学内の部屋で講演を実施、映像と講演録を作成、WEBでも公開。</p> <p>○全体テーマ 「千葉氏の領域における交通と流通—水と陸でつながる人・モノの中世—」</p> |

| | | |
|----------------|-----------|--|
| | | <p>講演 1 内海を臨む都市 千葉 —中世水陸交通の視点から— 講師：遠山 成一氏（東金市文化財審議会会長）</p> <p>講演 2 中世のムラ・城をめぐるモノの動き —遺跡にみる北総地域の物流— 講師：道上 文氏 （船橋市飛ノ台史跡公園博物館学芸員）</p> <p>映像：千葉氏ポータルサイトで3月より公開 講演録：A4判 71ページ 600部（3月刊行）</p> |
| イ 学校・団体見学 | | |
| 学校見学 | 通 年 | <p>市内小中学校12校、市外小中学校7校が社会科見学で来館した。</p> <p>※ワークシート等を活用</p> |
| 団体見学 | 通 年 | <p>来館した団体に対してボランティアによる展示解説</p> <p>※令和2年度は中止</p> |
| ウ 学習支援コンテンツの製作 | 9月29日より公開 | <p>新型コロナウイルスの影響で来館できない子どもたちを対象に映像コンテンツ「千葉市の歴史を学び隊！ 郷土博物館」を製作し、ホームページで公開した。</p> |
| エ 講師派遣 | 通 年 | <p>施設や団体からの依頼に応じて、職員が出張し、館外で郷土史に関する講義を実施した。</p> <p>9月5日（土） 歴史講座（山王公民館） 10月12日（月） 現地巡検講座（佐倉城跡） 10月21日（水） 幕張地元学習会（幕張公民館） 10月29日（木） 千葉市地域づくり大学校（ハーモニープラザ） 10月30日（金） 千葉市地域づくり大学校（若葉いきいきプラザ） 10月31日（土） 歴史講座（幕張公民館） 10月31日（土） ボランティア大学（美浜いきいきプラザ） 11月3日（火） 歴史講座（県立関宿城博物館） 11月14日（土） 歴史講座（幕張本郷公民館） 11月16日（月） 郷土の歴史講座（越智公民館） 11月28日（土） 市民講座（みやこ図書館） 11月29日（日） 歴史講座（花園公民館） 12月5日（土） 歴史講座（佐倉市立弥富公民館） 12月6日（日） 歴史講座（たこらぼ・多古町） 12月6日（日） 歴史講座（花園公民館） 12月16日（水） 地域行政資料研修会（県立中央図書館） 12月19日（土） 歴史講座（磯辺公民館）</p> |

| | | |
|-------------------|---|---|
| | <p>1月20日(水) 1月27日(水) 2月19日(金) 3月7日(日)</p> <p>他に市政出前講座</p> <p>10月5日(月) 10月7日(水) 10月17日(土) 11月30日(月) 2月17日(水)</p> | <p>歴史講座(花見川公民館) 歴史講座(花見川公民館) 歴史講座(稲浜公民館) 歴史講座(轟公民館)</p> <p>①市制100年を迎える千葉市の歩み ②千葉開府900年に向けて、千葉氏を知ろう</p> <p>①松花くらぶ(あやめ台いきいきセンター) ①稲毛区シニアリーダー連絡会(稲毛区保健福祉センター) ②千葉市の歴史学びと地域交流(ヴィビフォーレセンターハウス) ②花輪町自治会(花輪町自治会館) ②花見川公民館(花見川公民館)</p> |
| オ 職場体験の受け入れ | | <p>職場体験の機会を提供した。内容は主に学芸業務(資料整理の実務など)を体験。 ※令和2年度は学校から依頼なし。</p> |
| カ 博物館実習の受け入れ | 8月18日(火)～ 26日(水) | <p>学芸員課程履修中の学生4人の館務実習生を受け入れた。実習内容は、資料の整理、資料の取扱、教育普及事業の補助などを行った。</p> |
| キ 博物館ボランティアの育成・活用 | 通 年 | <p>博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。</p> <p>活動内容：館内の展示解説(令和2年度は中止) 活動日時：主に土曜日、日曜日、GW中、さくら祭り、駅からハイキングなどの期間 10時30分～12時、12時～13時30分 13時30分～3時 他に見学団体からの要請に対応 登録人数71人</p> <p>○育成関係(下記の講座を開催し、新規に4人をボランティアに登録) 基礎講座：ボランティアに関する基礎的な知識の習得を目的に生涯学習センターで実施。 専門講座：千葉市の歴史に関する専門的な知識の習得を目的に郷土博物館で実施。</p> <p>基礎講座(全6回) 11月5日～11月26日 専門講座(全4回) 1月30日～4月17日</p> |

| | | | |
|-------------|---|--|---|
| (6) 市史編さん事業 | ア 市史編さん資料調査 | 通 年 | 千葉市域に係る歴史資料の調査を通年で実施した。 ①土気町 吹野家文書（2次分） ②中田町 前角氏写真史料 ③小中台町 清水家文書 他 |
| | イ 史料編の刊行 | 1月 | 明治時代を対象とし、本市の歴史にとって重要な史料や、当時の地域の特徴を示す史料 330 点を掲載した『千葉市史史料編 10 近代 1』を刊行した。 B 5 判 ページ 1,000 部 |
| | ウ 史料編の編集 | 通 年 | 『千葉市史 史料編 近現代』第 2 巻目に掲載する史料の選定作業、校正作業、補充調査を行った。 |
| | エ 千葉市史研究講座 | | 「千葉市史」等をもとに、市域の歴史的事柄を取り上げて史料に基づく歴史を平易に解説した。 対 象：一般（定員：95 人） 会 場：千葉市生涯学習センター 2 階ホール |
| | 第 1 回 | 9 月 26 日(土) | 講演 1 「縄文時代の狩り」 講師：西野雅人氏（千葉市埋蔵文化財調査センター所長） 講演 2 「武田信玄の関東侵攻と房総」 講師：細田大樹氏（千葉氏関係史料調査会） |
| | 第 2 回 | 10 月 11 日(土) | 講演 1 「下総の村から幕末維新期の社会状況を考える―稲干場をめぐる村方騒動を事例として―」 講師：久留島浩氏（国立歴史民俗博物館特任教授） 講演 2 「生実浜野村の成立と展開」 講師：神山知徳氏（昭和学院中学・高等学校教諭） 参加人数：延べ 151 人 |
| | オ 初級古文書講座 【中止】 | | 古文書の解説を通じて、江戸時代の郷土への理解を深める。 参加者数：0 人 |
| カ 中級古文書講座 | 11 月 25 日(水) 12 月 8 日(火) 12 月 9 日(水) 12 月 22 日(火) 12 月 23 日(水) 12 月 24 日(木) (全 6 回) | 初級古文書講座に比べ、より高度な理解力と、文章把握能力を身につける講座。 テーマ：江戸時代の村の史料を読む 講 師：後藤雅知氏（立教大学文学部教授） 定 員：12 人 参加者数：延べ 60 人 | |

| | | | |
|------------|---|---|--|
| | カ 『千葉いまむかし』の発行 | 3月 | 『千葉いまむかし』34号の発行 B5判90ページ 700部 ・慶応四年の「政権交代」と「五榜の掲示」 ・千葉市の弥生土器・石器 他 |
| | キ ニュースレターの発行 | 9月、3月 (年2回) | ニュースレター「千葉市史編さんだより」の発行 千葉市史編さんの状況を紹介するため9月と3月に発行した。各2,000部 |
| | ク 市史協力員の活動 | 通 年 | 古文書整理ボランティア 8人(15回) 新聞記事データベース入力の活動 5人(38回) |
| (7) 協議会 | ア 千葉市立博物館協議会 | 8月26日(水) 3月10日(水) | 第1回 ・令和元年度の事業報告について ・令和2年度事業予定と実施状況について 第2回 ・令和3年度の予算と事業予定について |
| (8) その他 | ア 千葉県博物館協会 イ 関東博物館協会 ウ 日本博物館協会 エ 全国歴史民俗系博物館協議会 | 7月21日(火) 6月12日(金) 11月25日(水) ～26日(木) 8月18日(火)～ 31日(月) | 総会(書面開催) 総会(書面会議) 第68回全国博物館大会(横浜市開港記念会館) 総会(書面会議) |

【博物館法】

(博物館協議会)

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

【千葉市立博物館設置条例】

(博物館協議会)

第3条 法第20条第1項の規定に基づき、千葉市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 法第21条の規定による委員の任命は、次に掲げる者のうちから行うものとする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

千葉市立博物館協議会委員 名簿

任期：令和3年1月9日～令和5年1月8日

| 委員名 | 現職など | 専門分野 |
|-----------------------------|--------------------------------|------------------------|
| はぎわら つかさ 萩原 司 (委員長) | 元千葉市立大森小学校長 元千葉市教育史編纂事業事務局長 | 教育史 |
| こじま みちひろ 小島 道裕 (副委員長) | 国立歴史民俗博物館研究部教授（歴史研究系） | 日本中近世史 博物館教育 |
| すずき かずひこ 鈴木 一彦 | 千葉大学講師 | 博物館学 博物館経営 |
| ひろた なおゆき 広田 直行 | 日本大学生産工学部建築工学科教授 | コミュニティ施設計画 公共施設再編計画 |
| こばやし さおり 小林 さおり | 千葉市立稲浜小学校校長 | 学校教育 |

令和3年8月現在